

第2回日本成長戦略会議

シナモンAI 代表 平野未来

AI・半導体分野について

AI・半導体は、17分野のほぼすべてに横断的に関与する基盤技術であり、新技術立国、スタートアップ政策、人材育成、労働市場改革、サイバーセキュリティとも密接に結びついているうえ、経済安全保障と競争力の源泉である。分野別施策にとどまらず、各戦略分野との連携を前提とした統合的な政策設計が不可欠である。

新技術立国について

AI分野においては、グローバルテック企業がトップAI研究者に対し、数億円から数十億円規模の報酬で獲得競争を行う事例が増加している。これは、ごく少数の高度人材の知的貢献そのものがイノベーションの源泉であり、企業価値や国家競争力を左右する資本となっていることを示唆している。

- ・一人の知的貢献が巨大なスケールで波及する
- ・勝者総取りとなりやすい
- ・安全保障や基盤産業と直結する

上記条件を満たす場合、量子、バイオ・創薬、宇宙、気候・エネルギー、神経科学など他分野においても今後顕在化する可能性がある。

スタートアップ政策について

2022年11月に策定されたスタートアップ育成5か年計画は、策定から3年が経過した。一方で、計画策定直後より、世界的な金融引き締めや投資環境の急変を背景に、いわゆる「スタートアップ冬の時代」と呼ばれる局面が到来し、スタートアップを取り巻く外部環境は当初の想定から大きく変化している。

こうした環境変化を踏まえると、計画策定時の前提条件や時間軸を維持したまま、当初掲げられた目標を期間内に達成することは、現実的に難易度が高まっていると考えられる。同時に、策定から3年が経過したこのタイミングで、現時点での進捗状況と外部環境の変化を踏まえた客観的な振り返りを行うとともに、ロードマップを実効性の高い形へのアップデートが必要なのではないか。

あわせて、今後もスタートアップがイノベーションの主要な担い手であり続けることを前提に、スタートアップ政策と17の成長戦略との間で、より実質的かつ継続的な連携を図る必要がある。